



鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

イエスの言葉

『全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい』

聖書(マルコ福音書 16章 15節)

牧師 河合裕志

この言葉は元々のマルコ福音書にはないもの。あとから誰かが付け加えた。

なぜそんなことをした。

それはマルコ福音書の終り方。「婦人たちは墓を出て逃げ去った。震え上がり、正気を失っていた。そして、だれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである」。

こんな終り方ってある？

日曜日の早朝三人の女達がイエスを納めた墓に行く。墓の入り口をふさいでいた大きな石が脇にゴロンところがしてあるのを目撃。これには一同ギクリ。

誰がころがした？

それでも勇気を出して恐る恐る横穴式の墓に入る。すると白い長い衣を着た若者(天使)が右手に座っていた。これにはまさにぶったまげた。

若者は言う。「イエスは復活なさせてここにはおられない。このことを弟子達に告げよ」。ところが「だれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである」。

この終り方については種々言われて来た。元々はもう少し書かれていたものが紛失したのではないか、あるいは著者マルコはここまで書いて急死したのではないか、あるいはまた尋常でない復活の出来事をよく伝

えておりこの終り方でよい…。

ホントのところはわからない。後になってこの終り方はどうも納得がいかないと判断した人が冒頭の言葉を付け足した、ということ。附加だけでもこれも結構古い。マルコよりは30年程遅れの100年前後のものとされている。そしてこの著者は他に伝承されているものからこの言葉をここに引用、紹介したということか。

これは復活したイエスが弟子達に語ったものとされている。実に大きな言葉。「造られたもの」とは人間のこと。

全世界の全ての人に福音を伝えよ、と。このあと更に『信じて洗礼を受ける者は救われる…』と続く。イエズス会はこの大きな言葉、命令指示をモットーとしそこからフランシスコ・ザビエルがはるばる極東のこの国に福音を伝え、鹿児島で150人、平戸で100人、山口で500人と洗礼を授けて行った。わずか2年3ヵ月の間に。

今日本の大小の企業が全世界に行きつつある。これが現地の人と日本の国にとって「福音」Good Newsであれば幸い。

双方に利益をもたらすものであれば引込み思案であることはないのだろう。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時